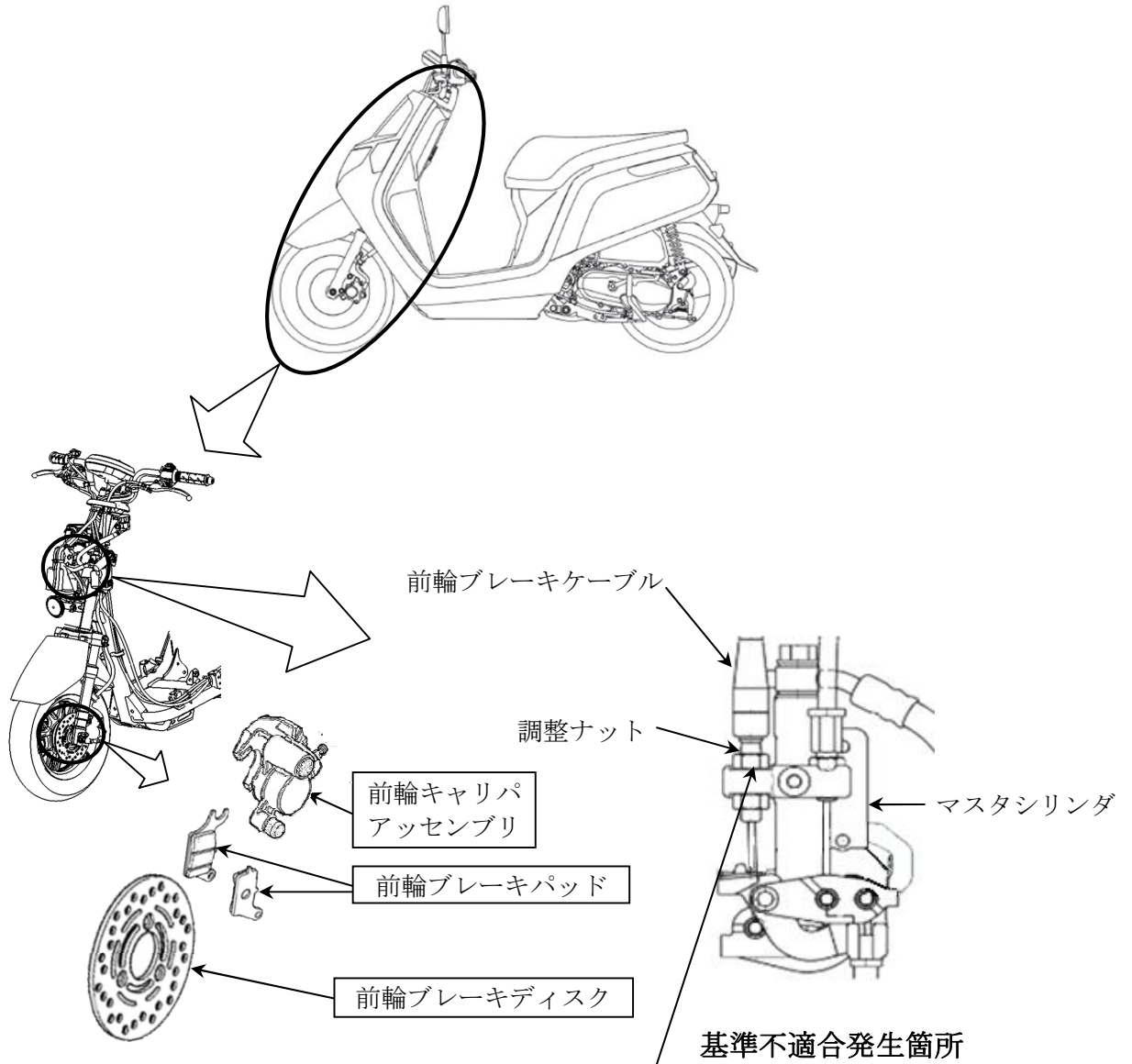


改善箇所説明図



前輪ブレーキにおいて、製造時の部品管理及び工場内修理作業が不適切なため、マスタシリンダ内に空気が混入した状態で前輪ブレーキケーブルが過剰に調整されたものがある。そのため、使用過程で意図せずブレーキ液圧がかかり続けて前輪ブレーキが引きずり、最悪の場合、前輪がロックして転倒するおそれがある。

改善の内容

全車両、前輪ブレーキディスク、前輪ブレーキパッド及び前輪キャリパアッセンブリを新品と交換し、前輪ブレーキケーブルを適切に調整してエア抜き作業を実施する。

注： は交換部品を示す。

識別：弊社インターネットホームページのリコール等対象検索に“実施済”と表示する。